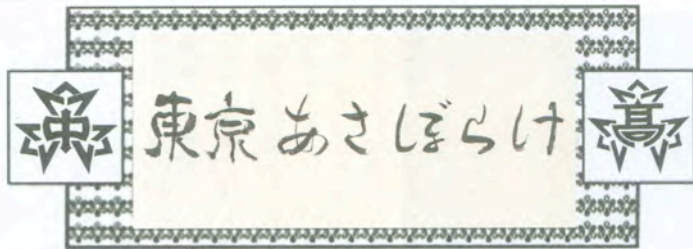


至誠勸業
剛健成風
操守堅固
校訓



発行所
東京福中・福高同窓会広報委員会
〒160-0023
新宿区西新宿7丁目20番地16号
ダイカンプラザシティII 304
原口法律事務所内
TEL 03-3361-9633
FAX 03-3369-6664
Eメール fukkou@attglobal.net

《活躍する同窓の仲間たち》 地域に共生の大きな輪を広げる

障害もつ長男と

「幸せになる道はきつとある」と信じ

多彩な取り組みを続ける 明石洋子さん (高16回)

21世紀という新しい時代を生き、切り開いていく上で重要なキーワードが、共生とノーマライゼーション(特別視しないこと)だといわれます。今回は、まさにその「心と実践」を通して地域に、また全国各地に「温かな人間の輪」を広げている高16回の明石洋子さん(川崎市在住)をご紹介します。

「私の人生は真つ暗」と嘆いたことも

明石さんは、長男徹之さん(28歳)が2歳10カ月の時、障害があると診断されました。「不幸な子を持つ不幸な親、私の人生は真つ暗になると嘆き悲しみました」と、明石さんは当時の思いを率直に振り返ります。しかし、持ち前の明るさと母親ならではの強さが、すぐに明石さんを立ち直らせました。「たとえ障害があつても地域の中で充実した人生を送らせてやりたい、幸せになる道はきつとある」と心に決めたのです。「本人の意思を尊重し、社会の中で自立する力を育てる」ことを子育ての基本に据え、「あたり前に地域で生活ができる環境を作ろう」と、真のノーマライゼーション

の定着をめざし、一貫して地域の中で活動。住んでいる神奈川県内だけでなく、日本全国、海外での講演などを通して理解と支援のネットワークを広げています。ふれ合い、理解し合う場を共有しようとして



グランドキャニオンにて、明石洋子さん(右)と息子の徹之さん

された頃は、まだこの障害を持つ子供たちのための療育などの環境はほとんど整備されておらず、しかも、社会的な無理解や誤解・偏見などが大きな壁をつくっていました。徹之さんには重複障害があり、さすが明るい明石さんも大きな絶望感と孤立感に襲われたことがあったといいます。それでもくじけず、同じ障害児を持つお母さん達と「地域訓練会」を運営し、連帯感を深めていきました。それが「地域に生きる」原点となったのです。

徹之さんの成長と一緒に、障害児の保育園への入園運動や普通学級就学運動、さらに児童保育や高校入学への取り組みなど、徹之さんが地域の同年代の子供たちとふれ合い、理解し合う場を共有しようと粘り強く運動を続けてきました。その後、ボランティアグループ「あおぞら共生会」の会長として市民活動にも取り組み、障害児者の親に限らず地域の人々を巻き込んで、障害児者の働く場として「地域作業所」を2カ所、暮らしの場「グループホーム」を3カ所設立し運営しています。さらに「障害を持った人が住み慣れた地域の中で一生涯安心して暮らせるように」と、「サポートセンターあおぞらの街」を立ち上げました。これが昨年NPO法人(特定非営利活動法人)の認証を受け、理事長として「地域の人が地域の人を支える地域のための活動」を展開しています。この「あおぞらの街」には行政からの資金援助はありませんが、賛助会員の支援の輪を広げながら「汗を流そう! お金も出そう!」と苦勞を充実に変えて運営しているのです。



列島スペシャル川崎大師ロケ、明石さん親子とスタッフ

5年から川崎市職員として元気に楽しく働いています。こうした明石さんのあたたかい愛情と地域の人々の支援の中で徹之さんが自立していく姿は、NHKテレビのドキュメント番組「新日本探訪・笑顔で街に暮らす」と「列島スペシャル」で紹介され、障害児者の親に希望と勇気を与えただけでなく、全国に感動の輪を広げました。初めは不幸な人生と嘆いたこともあった明石さんですが、徹之さんのお陰で多くのことを学び、多様な価値観を心から認められるようになり、「人」という最高の財産を増やし、ストレスをスパイスに変化に富んだ人生を楽しんでいますと明るく言い切る表情は美しく輝いていました。

「プロフィール」

箱崎小↓城南中(佐賀市)↓福岡(新聞部、卓球部)↓現在、医薬品卸で管理薬剤師。全日本手をつなぐ育成会評議員はじめ、地域の福祉活動の役職多数。家族は同学年で同窓の夫・邦彦さんと徹之さん、大学院生の二男の4人家族。長年のボランティア活動で平成8年、国際ソロプチミスト川崎より「女性栄誉賞」を受賞。

21世紀の人と社会のあり方、生きる視点は――

家庭に豊かな「内なる言葉」の復権を

近著『家族を「する」家』が反響を呼んでいる

芥川賞作家・藤原智美さん（高26回）に聞く

高26回卒の芥川賞作家、藤原智美さんが昨夏出した『家族を「する」家』（プレジデント社）が、前作の『「家をつくる」ということ』（同）に続いて大きな反響を呼んでいる。夫婦、親子関係など家族・家庭のあり方、つまりは社会と人間の根本的なあり方を問いかける両著が、さまざまな情報が氾濫するなかで、逆にともするとコミュニケーションを失い、混乱の中で「ゆらいでいる」現在の親たち、夫婦、家庭に、小説家の感性と洞察力で展望と温かいメッセージを送ってくれているからです。その藤原さんに港区白金台の自宅でお話をうかがいました。

「夫婦の絆」が弱まっている

「家族を「する」家」は、日本の社会を支えている家族が、これからどうなっていくのだろうかという観点から書きました。今までは、親子関係が家族だというふうに捉えられてきました。しかし私は、その前に夫婦の関係があると思うのです。そして今、その大事な夫婦の絆が弱ってきているので



現在の家族の運営、言い換えれば家族をすることの大半は「情報処理」なのです。その意味で、情報社会を変えるのは企業や社会ではなく家族関係ではないかと私は考えています。子供の誕生会を例に考えてみましょう。誕生会をする時、若いお母さんたちはまず、誰を呼び誰を呼ばないか子供からの情報を元に出席者リストを作ります。そこでは、子供同士は仲が良くても母親同士が折り合いが悪いとか、呼ばれなかった子供が仲間はずれにされないかといったことも加味しなければならぬので、極端に言うところ結婚式の出席者リストを作るより難しいのです。次に、どこで開くかです。家かファミリールームかホテルか。そ

の次には、プレゼントに対するお返しをいくらにするかを考えなければなりません。高過ぎず、安過ぎずのポイントです。お母さんたちは、そうした情報処理に1カ月近くもかかりつきりになるのです。



一見つまらない、大したことではないように見えるかもしれないが、決しておろそかにはできないのです。なぜなら、それによって子供の友達関係が変わること、も考えられるからです。これは、まさに選択と判断を迫られる情報処理です。その大半を母親がしているのです。塾選びなども同様で、

「何を期待するか」と言うよりも、「何をするか」と考えるべきかもしれません。本年が皆さんにとって、佳い世紀のスタートの年になることを祈っています。

「絆を深めるのは対話の場所の寝室」
それだけに夫婦の絆を深める対話の場所が重要なことに、そのための場所である夫婦の部屋、寝室が住まいの中になんかいいものがないと、夫婦の部屋が家の中で一番貧弱かもしれません。理想的には子供部屋の2倍くらいあり、そこです（次ページに続く）

会長あいさつ 新しい世紀を迎えて

会長 三野定(中15)



2001年を迎えました。いよいよ21世紀というわけですが、この新しい世紀に皆さんは何を期待しておられるでしょうか。
私は東京福岡県人会の副会長をしています。昨年の11月10日にその県人会の秋の大会があり、わが同窓会の方々にも応援いただき助かりました。県人会では昨年から県内を4つの地域に分けて、春と秋の大会を各地区が順番に幹事役を担当することにいたしました。昨春は筑豊地区が担当、秋は福岡地区が幹事で、修猷館・福高・糸島高・筑紫丘の卒業生が中心になって準備を進め、私が幹事長の立場でしました。魅力あるプログラムを作り、参加者を確保しなければなりません。当同窓会の有志の方々をお誘いしたところ快く応じていただき、参加者数の目標も達成でき、大変感謝している次第です。大会では、一応県の副知事や山崎福岡市長など来賓の堅いお話もありました。修猷館出身の女流講師・神田紅さんが、『元寇襲来』と題するスライドを使った創作講演を熱演し、聴衆を湧かせました。さて、わが同窓会でも平成13年度の総会を控えて、当番幹事の高校8、18および28回の皆さんが、総会を楽しく意義のある集いにし、沢山の同窓生に來てもらおうと、準備に苦心しています。素敵なプログラムが出来上がると思います。何かを共有する者が集まって語らう、語らいの中に自らの生き甲斐を見つけ、互いに励ましあう、それが同窓会であり、県人会であります。こうした会には楽しい方が勿論いいし、幹事はそうなるように趣向を凝らしますが、結局本当に楽しく意義あるものにできるのは参加するご本人です。幹事はそのお膳立てをすることしかできません。どうぞ、同窓会に積極的に参加し、利用してください。

かり話し合いができることが大切なのです。親の側は子供のために我慢していると思っているかもしれないが、そんなことは子供には伝わっていないのです。子供部屋はむしろ安普請でもよいけれど、夫婦の寝室はドアも重厚なものにして子供たちがその違いをはっきりと認識できるようにしなければならぬ、と私は思うのです。

思考力・創造力を結実する「内なる言葉」を持つ

では、なぜこうした今日の状況が生まれたのでしょうか。私は、言葉の力が弱っていることが大きな要因だと思っています。現代人は、瞬間的な情報を視覚で受け取り消費することが多くなっていますが、そうした視覚偏重の時代風潮のなかにあって、内省し、心の中で言葉を組み立てる思考力、想像(創造)力がかなり貧困化してきているように思えてならないのです。

ヘッドフォンをしてコミック雑誌を読みながら道を歩く、大量の情報を消費している現代の若者たちは、情報ツールの何も無い空間に数時間といられなくなっているのではないのでしょうか。本来、孤独に耐えられるのが人間で、その孤独に耐えるために必要なのが思

考力、想像力なのです。しかし、今の子供たちは、「自由に空想できる時間は退屈な授業中くらい」と皮肉な言い方があるくらい、とにかく忙しい。そんな状況では、自分自身で考えたり、想像したりする力は、かなり失われてしまっているのではないかと思うのです。

問題を解く力キは夫婦が握っている

思考力、想像力を結実するのは言葉です。その言葉には内側をめぐる言葉(内なる言葉)と外側をめぐる言葉(外側をめぐる言葉)があります。いま、言葉がめぐる言葉が失われ内側をめぐるのが気掛かりです。つづめるのが気掛かりです。外側をめぐる言葉ばかりになつていくのです。例えば、Eメールやインターネット、携帯電話は外に噴出する言葉です。その外に噴出す言葉は、内をめぐる言葉によって支えられていたはずなのに、それが空洞化しつつある。外側をめぐる言葉ばかりになつていくのです。作家の仕事に即して言い

ますと、内なる言葉をつくらなければならない親に会話が生まれるはずはないのです。夫婦のコミュニケーションがとれていないのに、家族の団欒があるはずはないのです。夫婦の関係、男と女の関係に、言葉を含めた豊かなコミュニケーションをどれくらい復活させられるかが求められているのだと思います。この点を私たちが、ルーズに考えすぎているのではないのでしょうか。

これに家族で考えてみましよう。現在の社会は家族以外に子育てのシステムを持っていません。表現を変えると、家族と家族の愛情によって子供を育てていく以外の方法を私たちは持っていないのです。それだけに、情報処理と対話の場所である家庭に言葉を復権させなければ、人間にとって大事な「内なる言葉」がなくなってしまう。まず男と女が出会って家族を作るわけですから、この問題を解く力キは夫婦が持っているとの認識を私

は持っています。夫婦に対して話がないのに親子に会話が生まれるはずはないのです。夫婦のコミュニケーションがとれていないのに、家族の団欒があるはずはないのです。夫婦の関係、男と女の関係に、言葉を含めた豊かなコミュニケーションをどれくらい復活させられるかが求められているのだと思います。この点を私たちが、ルーズに考えすぎているのではないのでしょうか。



家族のあり方に鋭いメスを入れた藤原さんは、今度は筑豊の炭鉱を舞台に、そこに生きた、ある家族の歴史を通して、これまでどの作家もやれなかった「日本の100年」を描くべく、取材と構想づくりを進めている、と話してくれました。大作の完成が待たれます。

江口保之先生を偲んで 死線を乗り越えた曲想に感動

山本 健二(高3回)

昨年10月26日福岡銀行本店大ホールで江口保之先生(昭和22年から42年まで在籍)の追悼リサイタルを行ってきました。ロビーには先生の遺影が飾られ、開演前、誰もいないそのロビーで私は先生の遺影に、その日の歌に魂が込められた歌が出来るよう、お願いの黙祷をしていました。

思いは51年余り前にさかのぼります。それは昭和24年の秋、私が福岡高校の2年生のときでした。

ピアノを弾きながら五線紙に音符を書き込んでいる先生は、いつもと違う雰囲気を感じ、メロディや和音もあまり耳にしことのないものでした。恐るおそる「なんという曲ですか」と尋ねたところ、先生は「白秋の邪宗門を作曲しているが難しいな」の一言。

そのときの不可思議で幻想的な音は、その後も時折脳裏をよぎっていました。

4年前先生にお会いしたとき、ふと思いついてその後「邪宗門」はどうなりましたかと伺ったところ「まだできとらん」と言われたのですが、その4月先生は病のため死線をさまよう経験がされました。



故江口保之先生

その旋律と和音と曲想の展開に感動した私は、凄曲を書かれましたと申し上げると「うん、何か書き残しておきたいと思ったのですね」と言われました。死線乗り越えられた先生が、生のあかしとして書かれたものと受けとめました。

スケールの大きい幻想的な音の世界に魅せられた私は、リサイタルプログラムの中のひとつを邪宗門の曲で組みたいと思いついて「謀叛」を含めあと3曲作って下さいとお願いました。

後になって、病後の先生に何という無理なことを言ってしまったのかと後悔しました。

ましたが、その後次々と作品が送られてきました。しかし先生は、歌う曲は君が選んで歌えばよい、僕の作品だからといってすべて歌わなくてもよいのだよ、とおっしゃっていました。

先生ご自身も一昨年末、どうしてもこれだけは作曲したいと作られた「婦去来」を私の録音を聞いた後、書き直したいところがあると言われたのです。永遠の世界へ旅立つ際まで、詩と音楽への純粹さを求めていたのです。(因みに、婦去来の詩には先生の半生と重なるところがあるのを、お手紙の中で知りました)

亡くなる半年前のその頃は頭の中は音がいつぱい駆け巡るのに指が痛くて一小節書くのがやっととなんだよとはがゆがっておられました。それでも書き続けたのは、自らの生へのあかしと作曲家魂のなせるものだけに違いありません。

リサイタルのプログラムには先生の作品の中から、詩集『邪宗門』の巻頭を飾る「邪宗門秘曲」並びに最高傑作といわれる「謀叛」の大曲と小品の「空に真赤な」のほのかにひとつ「の4曲を選び歌いました。

昨年5月7日、81歳の生涯を閉じられましたが、先生の魂は作品とともに私たちの心にいつまでも残るものと信じています。



酒と放浪癖を駆り立てた思春期の教え

ただ今、酒の本 26冊目を執筆中

稲保幸 (高5回)

「一歩でもいいから
ゴールに向かって進め」
人文地理のジイさん(竹
村先生)は、授業の半分は
冗談を言って生徒を笑わし
ました。曰く、
「スペインの家屋はトタ
ン屋根が多く、真夏は屋根
が焼けている。スズメも屋
根が熱いことを知っていて、
いつも電線にとまる。スズ
メの餌を屋根の上に投げて
やると、餌から湯気が出て

美味しそうな香りが立ちの
ぼる。餌を求めて屋根に舞
い降りたスズメのやつ、足
をやけどして転がり落ちる。
地上に転がり落ちるまでに
スズメはほどよく焼けてい
る。スペインの人たちは、
シェリーという旨い酒を飲
みながら上から落ちてくる
焼き鳥を肴にする。これが
旨いのだな」
ジイさんは、生徒が喜ぶ
と得意になって講義したも
のです。生徒はどこまでが
本場で、どこからが嘘か判
断に苦しみました。私は当
時から放浪癖があったせい
か、話題が世界に広がる先
生の講義が好きで、好きだ
から人文地理の試験はいつ
も満点でした。

漢文の教師はカツバさん
(小野先生)で、高校日本一
のラグビー部の部長も務め
ていました。
「ラグビーの試合には補
欠がない(当時)。10人倒
れたら、残りの5人で戦う
のだ。戦力が落ちても負け
たら理由にならん。ボール
を持つたら後ろに回さず一
歩でもいいからゴールに向
かって進め」
この教訓は、今でも私の
人生哲学の中のひとつとし
て脳裏に刻み込まれていま
す。またカツバさんは、自
分の担当する漢文が不人気
なのを自覚していて苦労さ
れたようでした。「今度の
試験には、なんでもいいか

ら漢字だけで文章を書け。
そいつには20点やる」と公
約したのです。そして、試
験には公約どおりの問題が
出たのです。
「酒、量なくば、乱に及
ばず」と、私は漢字だけの
文章を書いて、苦労した漢
文もぎりぎりクリアした
ことを覚えています。私が
書いたこの漢文は、教科書
には載っていません。どう
して書けたのか定かではあ
りませんが、カツバさんの
授業のとき、ノートの片隅
に書き込んでいたのは間違
いありません。
思春期に受けた教えは強
烈に人生に影響を与えるも
ので、20点いただいた「酒
と、ジイさんに放浪癖を駆
り立てられた教えの影響で、
その後の人生を送るようにな
ったのでした(実は、私
には『世界酒大事典』など
酒の本があり、現在、26冊
目を書いています)。

初めての夫婦同伴の
同窓会を開催
昨年の在京同窓会は、美
人の奥さんを射止めたやつ
が幹事でした。こいつが、
何を思ったのか、初めて夫
婦同伴の同窓会にしたので
す。この企画は不評で、女
性軍の総スカンを食らった
だけでなく、男性軍も、奥
さんたちをさらしたくなか
ったのか、多くが単独参加
になりました。無論、私も
単独組で、出欠の葉書に「う
ちのやつが足を痛め、お座
敷に座れないため」と書い
て出したのに、会場の椿山
荘は椅子にテーブルとあっ
て、バツの悪い思いをした
次第です。
一方の同伴組はというと、

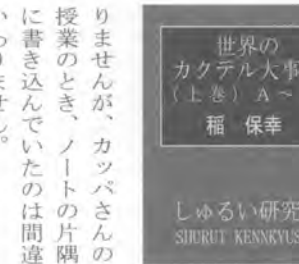
いずれも甲乙つけがたい美
人を伴っていました。そし
て、みんな50年の時間を巻
き戻し、敬称略の「オイ、
オマエ」で旧交をあたため
たのでした。
私を愛身させた学び舎、ヒュ
ーマニズムで繋がった友
毎日、酒の研究と言って
酒を飲み、時間があれば酒
を求めて旅をしている私で
すが、どこの国、どこの土
地を訪ねても、私が注文す
ると私にだけ同行者と違う

酒が出ます。すると、「凄
い語学力ですな」と知らな
い人は言います。しかし、
私の知っているのは世界の
酒の名前だけなのです。
それでも確かに、毎日、
日本の本を読まず横文字の
本ばかり目を通していきま
すから、中国の酒の事典を書
いている間に中国語を覚え
ましたし、世界の酒の事典
を書いていて英語を覚えま
した。高校時代、一番不得
意な科目が英語で、日本語
の国語まで悪かったことを
思うと大変な変身です。
高校、大学とは何だった
のだろう。私を変身させた
た博多の町に、わが学び舎
は建っていました。その学
び舎の前に立ち、一人考え
ました。私にとっては「勉
強のやり方」を教えてください
た所だったのかもしれない
。そして、青さん(山本
先生)の時間に習ったヒュ
ーマニズムで繋がった友を
沢山つくってくれた所だっ
たのかもしれない。

ラグビー王国・神奈川県
に書き込んでいたのは間違
いありません。
思春期に受けた教えは強
烈に人生に影響を与えるも
ので、20点いただいた「酒
と、ジイさんに放浪癖を駆
り立てられた教えの影響で、
その後の人生を送るようにな
ったのでした(実は、私
には『世界酒大事典』など
酒の本があり、現在、26冊
目を書いています)。

ラグビー王国・神奈川県
に書き込んでいたのは間違
いありません。
思春期に受けた教えは強
烈に人生に影響を与えるも
ので、20点いただいた「酒
と、ジイさんに放浪癖を駆
り立てられた教えの影響で、
その後の人生を送るようにな
ったのでした(実は、私
には『世界酒大事典』など
酒の本があり、現在、26冊
目を書いています)。

ラグビー王国・神奈川県
に書き込んでいたのは間違
いありません。
思春期に受けた教えは強
烈に人生に影響を与えるも
ので、20点いただいた「酒
と、ジイさんに放浪癖を駆
り立てられた教えの影響で、
その後の人生を送るようにな
ったのでした(実は、私
には『世界酒大事典』など
酒の本があり、現在、26冊
目を書いています)。



福高ラグビーのファンから ラグビースクールの コーチになる

湊 洋二(高34回)

ラグビー王国・神奈川県
に書き込んでいたのは間違
いありません。
思春期に受けた教えは強
烈に人生に影響を与えるも
ので、20点いただいた「酒
と、ジイさんに放浪癖を駆
り立てられた教えの影響で、
その後の人生を送るようにな
ったのでした(実は、私
には『世界酒大事典』など
酒の本があり、現在、26冊
目を書いています)。



ラグビースクールにて、後列左から2人目が湊さん

「鳥の顔」と

「鳥屋」の仕事

岩水 良和 (高23回)

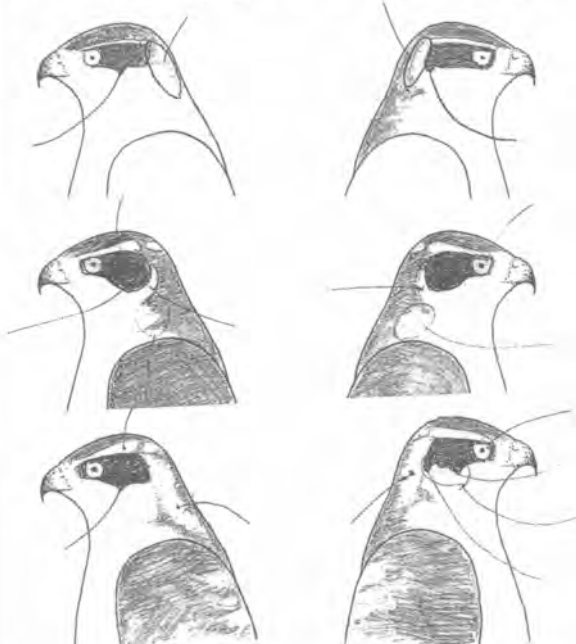
約80名で、それに対しコーチは約40名と単純に計算しても子供2人にコーチ1人という事です。きめ細やかな指導が可能となり、最初にも関わらずラグビーがラグビー経験者というわけではありませぬ。経験者は半分以下で、それ以外は、自分の子供の「追っかけ」をやるうちにいつの間にか「駆り出されて」ラグビーにのめり込み、そのままコーチになってしまったお父さんたちです。私自身はというと、大学の同好会に所属した程度で、大した経歴はありません。だから、実は福高ラグビー部OBではありませぬ。でも、福高に入学して体育で最初に教わったのがラグビーだったことや、在学中にラグビー部が2度花園に出場し大活躍したことから福高ラグビーのファンとなり、ラグビーボールを表してるとは知りませんでした。を誇りにしたものでした。ラグビー部OBからは叱られるかもしれませんが、少な

が困難なのです。タカカ1種オオタカも同じです。しかし、調べてみると白い眉の太さや長さなどに微妙な違いがあるようなのです(図参照)。

オオタカの顔の違いが分かりますか
同窓会で20年ぶりに昔の仲間にお会い。もちろん、学生服がスーツに変わっている。笑顔、ちよつぱり緊張した顔、すまし顔……でも、分かります。懐かしい個性との再会なのです。それに比べると、「鳥の顔」を見分けるのは、とても難しいのです。庭先で遊ぶ3羽のスズメ、ゴミ置き場の5羽のカラス、その中の1羽を追い続けられますか。鳥の顔は小さい上に個性が見えにくいから、それ

なからず「福高ラグビー精神」は培われているものと自負しています。関東に住んで12年になり、母校の応援にいけない(テレビで見ることできない)のは残念です。確か昭和58年を最後に花園からも遠ざかっていると記憶しています。全国制覇した頃は「ゴロ」と呼ばれていたそうです。福高ラグビーのファンとしても1日も早く花園の舞台に「Red Boy」たちが復活することを心から祈っています。

オオタカは蒼鷹(アオタカ)の転訛です。カラスと同じサイズなので「大きい」という人は少ないものの、とにかく精悍です。あの家康がオオタカによる鷹狩りを好んだことは、よく知られています。



顔：右と左 ふき出し線は特徴の引き出し線

「鳥屋」は考察を加え、対策案を添えた調査結果を示すわけですが、これに時間がかかるのです。最低1年ですが、それが現実という「時代」になったのです。野生のオオタカは田畑や市街地の上空にも現れますが、巣は樹林の中に作りま

卒業40年の今年、岐阜・高山に集う
東京寿山会も動員して
参加を予定
石井 哲次郎 (高13回)

そこで、事業者は私のような「鳥屋」に現地調査を依頼することになります。「鳥屋」は考察を加え、対策案を添えた調査結果を示すわけですが、これに時間がかかるのです。最低1年ですが、それが現実という「時代」になったのです。野生のオオタカは田畑や市街地の上空にも現れますが、巣は樹林の中に作りま

「鳥屋」は考察を加え、対策案を添えた調査結果を示すわけですが、これに時間がかかるのです。最低1年ですが、それが現実という「時代」になったのです。野生のオオタカは田畑や市街地の上空にも現れますが、巣は樹林の中に作りま

消化器外科医からの癌アドバイス

早期発見が最良の治療法

「何かあったらメールでお尋ねください」

有田 淳 (高33回)

3つの治療法について

現在、都内の病院の消化器外科に勤務しています。今回、先輩居並ぶ編集部より「何か同窓生に役立つ情報を」との注文をいただき、いろいろ考えましたが、高齢化とともに増える生活習慣病で、私の専門である消化器癌の診断と治療についてお話しさせていただきますと思います。

消化管(食道・胃・大腸)の癌の治療は大きく、①内視鏡治療、②手術療法、③化学療法—の3つに分かれます。

まず、①は内視鏡(胃カメラ、大腸ファイバースコープ)を用いて癌を切除する方法です。

②は、縮小手術と拡大手術に分かれ、縮小手術は腹

部に小さな穴を開けて腹腔鏡と呼ばれるカメラの付いた手術装置を体内に入れ、カメラの映像を見ながら遠隔操作で手術します。小さな傷で済むのが特長です。これに対して拡大手術は一般に「胃を取った」などと言われる手術で、胃の約3分の2を取る胃全摘術、胃全部を取る胃全摘術などがあります。この手術では、消化管とその周辺のリンパ節、癌の浸潤した臓器を切除する場合もあり、非常に大きな手術となります。

③の化学療法は抗癌剤を投与する方法で、これには手術不能例に行う場合と、手術後に残った「癌の芽」を断つための補助療法とがあります。

3つのうち、どの治療を行うかの決定は、胃透視や大腸にバリウムを入れる注腸検査といったX線検査や内視鏡検査、CT検査などにより判断されます。

消化管は内側から粘膜、粘膜下層、筋層、漿膜下層、漿膜の5層構造からなっています。このうち粘膜下層までに病変がとどまるものを早期癌、それ以降(筋層を以深)を進行癌といいますが、粘膜下層も3層に分け、S m 1、S m 2、S m 3と呼びます。内視鏡治療は

S m 2より浅い病変に対して、手術療法は浅いが大きく内視鏡治療ができないものや進行癌に対して行います。また、化学療法は先にも紹介しましたように、手術後および手術不能例に対しても行われます。

早期の癌はほとんど無症状以上が現在やられている標準的な治療法です。どの治療法を選ぶかは癌の進行度によって決められます。言い方を変えれば、癌が発見された時点で治療法が決定されているとも言えます。このことから、癌の早期発見が大切ということがお分かりいただけると思います。

消化器癌は早期癌の場合、ほとんど無症状で経過します。進行癌は、食道癌の場合には胸やけや、水は飲めぬが固形物は通らないといった通過障害の症状、胃癌では胃の部位にもよりますが胃痛、嘔吐、「コーヒー残渣」といって茶褐色の吐物があるなどの症状、大腸癌では便に血液が混じったり、腹部膨満や排便障害、下痢、便秘などがあります。直腸癌では残便感、便が狭小(便が細くなる)などの症状を呈する場合があります。

いずれにしても、早期発見にはやはり検診や人間ドックなど日頃から市区町村

の「がん検診」を受けたたり、医師に相談されるのがよいと思います。胃がん検診はペプシノーゲン法と呼ばれる血液検査を行うか、胃のバリウム検査を受け、異常が指摘されれば胃カメラによる検査を行います。

大腸癌は便潜血という検査を2回行います。これはポリープや癌、大腸憩室といった病気のある場合、陽性になります。注腸検査(大腸のバリウム検査)を行った後、異常があれば大腸内視鏡で調べます。早期癌やポリープなら、その時に内視鏡治療を実施します。この場合、1泊か2泊の入院が必要で、2週間は飲酒や激しい運動など禁止することになります。

以上からもお分かりいただけるように、何と云っても早期発見が癌の最良の治療法といえます。

不明な点や、私がお役に立てることがありましたら、ご遠慮なくメール(ask@goose.jp.or.jp)にてお尋ねください。同窓の皆さまの健康をお祈りしつつ。

なんばと

最近博多事情

西部偏重で

元氣の出ない博多部

池見 哲司 (高18回・在福岡)

昨年の福岡の最大ニュースは、やっぱりダイエーホークスのリーグ連覇でしょう。日本シリーズで金権球団の読売ジャイアンツに敗れたのは悔しいけれど、福岡から球団が消えた11年間、ホークスが下位を低迷していた10年間を思えば、御の字です。今年も粉砕してくれませぬ。

思い出しますよ。56年から58年にかけて、三原脩監督率いる西鉄ライオンズが水原茂監督のジャイアンツを3年連続で破ったことを。あれからもう42年以上もたつたのです。

豊田、中西、大下、稲尾から栄光の獅子軍団を育てた平和台球場は4年前に解体され、跡地では鴻臚館(ころうかん)の発掘調査が続いています。福岡城址一帯は歴史公園として整備される予定です。

見込み違い。発想がバブリーです。市が出資した再開発会社は悪戦苦闘しているようです。わが博多部では、都心の空洞化が進み、冷泉、奈良屋、御供所、大浜の4小学校を統合した博多小が98年に開校しました。旧冷泉小を仮校舎に使用しながら、今春、旧奈良屋小跡地に新校舎が完成します。

玉屋がつぶれ、呉服町の博多大丸の後に入っていたエレベーターも閉鎖。博多部はどうにも元気が出ません。東区では、6年前から和白沖に人工島の造成工事が進んでいます。目の前に面積400ヘクタールの島ができれば、袋小路の和白干潟は水が淀むのが当然です。すでに潮干狩りもできなくなりました。

千代松原から箱崎松原、香椎潟、和白浜を経て志賀島に至る白砂青松の博多湾が消えてしまった今、失つたものかけがえのなさを痛感します。福岡市政が一日も早く、開発路線から環境重視へ転換することを願わずにはいられません。

50代ですが、40代、30代、さらには20代など幅広い仲間に加わってもらい、より充実した紙面づくりをと思います。いろいろな分野で活躍する同窓生たちへのインタビュー取材や企画

「東京あさぼらけ」の編集作業に参加されませんか。現在、編集部のメンバーは

一緒に編集作業に参加ください。原稿も待っています

編集部から

「東京あさぼらけ」の編集作業に参加されませんか。現在、編集部のメンバーは

一緒に編集作業に参加ください。原稿も待っています

一緒に編集作業に参加ください。原稿も待っています

夏の甲子園目前 県大会決勝で夢破るの思い出

1回無死3塁、初球スクイズ成らず!

でも、負けて胴上げされた監督を自負

今泉 敏英 (高19回 福岡県粕屋郡須恵町在住)

オオゴトだった
マスコミの取材攻勢

昭和58年7月、夏の高校野球選手権大会の福岡県大会。我が福岡は予選、県大会と6校を破り、ついに久留米商業との決勝戦に臨んだのです。その記念すべき試合に監督を務められた幸運に感謝し、残念さを噛み締めつつ、当時の熱い思いをお届けします。

マスコミの取材が一段と激しさを増しました。それまでも、あの福岡が予選を突破し県大会に出場するというところで多少の取材はありましたが、勝ち進むごとに取材攻勢がオオゴトになりました。

準決勝までは、私が我が社のオンボロマイクロバスで選手を久留米球場まで送迎していました。選手諸君も、幼稚園児の小さな席で大変きつかったと思います。

福岡のヒーロー

久商、頼むぞ 甲子園

先制3点、好展開

健闘福岡、好機逸す



先制3点、好展開。健闘福岡、好機逸す。試合は福岡が先制3点を挙げ、好展開を遂げた。しかし、好機を逸す場面も多かった。

83年(昭和58年)7月30日付朝日新聞福岡県版

私は早起きして宿の屋上上がり、朝日を浴びながら八百万の神に、どうぞ勝たせて下さいとお願ひしました。当然でしょうが、勝負の前の宮本武蔵のような心境にはなれず、拝むというより、ただただ「頼む」ばかりでした。そして、いざ

「一球目スクイズをお願いします」。部長は心を得たもの、すぐにサインを出され、打者も確認して準備は整いました。

とんでもない

ボールが来て……

後、打者が空振りしないうちを祈るだけです。またバツテリーが警戒して外すことはないと思っていま

ここでの私の心に余裕があれば、先輩の言葉が頭に浮かんではずです。「お前ね、たとえ初回に無死3塁になっても、いきなりスクイズやらで点を欲しがるような野球やらしやんなね」と

もう一つ私の失敗があります。それは相手投手の性格を見抜けなかったことです。彼は、ヒットを打たれるとムキになって投げ癖があつたのです。冷静にな

その後の試合経過は記憶に残っていませんが、「2対8」で甲子園を逃したの

当時私は、初球スクイズが好きでした。まず外されて失敗した記憶がありません。まして、相手の久留米商業の投手は、春のセンバツにも出場した好投手山田武史君です(その後、社会人野球から87年巨人軍に入団、10試合に登板し90年退団)。我がチームより格上

だと思っていましたから、初球スクイズしか頭になかったのです。

功を焦りすぎました。何としても先取点を取って相手手を焦らせて優位に立ち、試合を進めるのが私の戦略

また、ありがたいことにその後、OB会からも、同級生(高19回)からも残念会を盛大にやってもらいました。その席でポン友曰く、「お前、甲子園に行かんで良かったぜ。甲子園に行くとたら人生狂うとるぜ」。

自分が出したのですが、スクイズだけは見破られると万事休すですから、分からないように部長にお願いしていたのです(なお、スクイズのサインは部長がメガネをかけておられたので、それを利用しました)。

私は、2番打者が打席に入る前、戸川先生に言いま

「生誕の門」の彫刻を完成させた。高25回の外尾さん

「お前、甲子園に行かんで良かったぜ。甲子園に行くとたら人生狂うとるぜ」。

サグラダ・ファミリア教会「生誕の門」の彫刻を完成させた。高25回の外尾さん。スペイン・バルセロナ在住の同窓の彫刻家、外尾悦郎さん(高25回)が、16年がかりで取り組んできたガウディ設計の大聖堂、サグラダ・ファミリア教会の「生誕の門」の彫刻を完成させました。



「生誕の門」の彫刻の前に立つ外尾悦郎さん(朝日新聞社提供)

先取点のチャンス、迷わず初球スクイズ

いよいよ決戦の日です。

1882年に着工された大聖堂は、8本の塔と2つ

の門の完成までに100年を要し、さらに150年かかるといわれる歴史的大事業。生誕の門の彫刻も20世

紀初頭から始まり、外尾さんは昨年末、最後に残された聖母子や天使等からなる像を仕上げました。

同窓会総会は4月20日(金)です。

福高・福博「スライドショー」

などを多彩に企画

当番幹事 河合 有子(高28回)

二十一世紀の幕が開きました。まもなく今世紀最初の東京福中・福高同窓会総会が開催されます！今回は、高8回、18回の先輩方と私たち28回生が、当番幹事として準備を進めております。

昨年5月に前任の皆さまから引き継ぎを受け、以来、毎月会合を重ねて参りました。そして、おおよその企画が整ったことを受け、28

回生の力の結集を図ろうと、9月30日には赤坂見附において「決起集会」と銘打った同窓会を挙行了しました。3週間足らずの準備期間にもかかわらず、首都圏在住90余名中35名の参加が得られたのは、チームワークもさることながら、Eメールの力に負うところが大きかったと改めて感じています。来る機会を得られたことに感謝したいと思います。

12年度総会は402人の大記録

新世紀初の集いの成功を

大屋 龍二(高27回)



世代を超えた大同窓会。

「400人を超えたみたいじゃええ！」。幹事の誰かの大声が聞こえました。7回幹事の内田省三先輩が赤ら顔で囁きました。「大成功やね」。総会と懇親会の長丁場の司会は17回の古賀成治さんがエネルギッシュに演じてくださいました。来賓の福高、野見山義隆校長との掛け合いによる母校のスライド上映は、大好評でした。中でも会場を興奮のつばにしたのは、福高応

昨年4月28日夜、東京市ヶ谷。平成12年度東京福中・福高同窓会懇親会の興奮度は絶頂を迎えようとしていました。ほとんど身動きがとれない「アルカディア・富士の間」の会場。福岡か

ら、この日のためにわざわざ駆けつけてくださった門田久人先生のご発声で乾杯、懇親会がスタートしました。当番幹事である高校7・17・27回生が人・人・人の隙間を忙しく走り回ります。るつぽにしたのは、福高応

さて、来る4月20日(金)の同窓会総会では、写真家・鶴田孝介君(28回)撮影による福高、福博の写真の「スライドショー」を企画しております。

昨年8月には、福高に隣接する石蔵酒造での28回生同窓会当日に、午前中から福高内と周辺地域を撮影しました。鶴田君を含め5名が、帰福を利用し、懐かしい校内外を汗だくになりながら半日をかけて歩き回りました。

変わらない本校舎、新しい中庭、昔のように夏休み中の部活に励む生徒たち、福高の敷地内に移設された「福高前」の電停(私たち「湯洲町」から)

援歌の大合唱。会場を揺るがすパワーでした。

閉会の辞でステージに上がった内田先輩が声を大にして語りました。「昨年の総会が終わってから、担当当番幹事が毎月一回集まり、今日の企画と運営案を練ってきました。中でも27回生の意気込みは尋常ではありませんでした。毎月の会合に20人以上参加するんです」。

総会と懇親会の準備は、平成11年の総会直後の6月から始まりました。テーマは「世代を超えて呑んで笑って懐かしがって！」に決まりました。当番幹事も世代を超えて異議なしの即決で

改名し、今と昔が交錯する不思議な時間を過ごしました。

うれしかったことがたくさんありました。体育館で部活をやっていた生徒たちが床や階段をきれいに掃除しながら、私たちおじさん、おばさんに気持ちよく「こんにちは！」と挨拶してくれました。

学校近くの森菓子店のおばちゃんにお話をいろいろ伺って写真を一緒に撮ったあと、まるでごほうびのようアイスを戴き、5人でお店の前の路上で食べたこと(いつまでも変わらず福高生を見つめ続けているおばちゃんのあつたかい心が嬉しかった)。

年に一度の同窓会総会、先輩・後輩の垣根を超えて、無礼講でもいいじゃないか。楽しく母校を語り合い、親睦を深めよう！というのがそもそもその趣旨でした。そこで考えたのが、各卒業年代が入り混じ



そして、福高の事務室の方が、快く校内の撮影を許可してくださり、資料室まで開放して「自由に動かしやすいですよ」と温かい対応をしてくださったこと。改めて母校への愛着を感じた一日でした。

4月の同窓会総会では、フリーアナウンサー(元RKB)林田スマさん(18回)司会、オペラ歌手山口俊彦氏(18回)による「福高賛歌」なども予定し、幹事一同、皆さまの多数のご参加を心よりお待ちしております。

皆さん、母校から遠く離れたこの東京で、自分たちの思春期を思い出しにいらつしやいませんか。

最後に出席者数402名。これまでになかった大台を記録することが出来ました。卒業してからも、こんなに素晴らしい体験をさせてくれる我が母校にはただただ感謝するのみです。13年度は新世紀最初の総会・懇親会です。

8・18・28回の当番幹事みなさんのご活躍と成功を祈り、あいさつに代えさせていただきます。

◆◆ 編集後記 ◆◆

◆9月中旬、まだ残る暑さに参っている私に「東京あさぼらけ」を手伝ってと、高16回の斎藤さんから電話が入る。何でも編集作業をしている高15回の原口さんの事務所から近いのと、専業主婦で時間がいくらでもあるだろうということで白羽の矢が立ったみたい。

◆出来るか心配しながらも、「母校のために」と引き受ける。高14回の福士さん、高15回の加藤さんたち先輩の慣れた、そして熱心な仕事ぶりに、初めの心配は杞憂に終わる。それにしても新聞づくりは本当に大変。何げなく読んで制作者に悪いと認識した次第。

◆同窓の方たちの活躍ぶりもどうでしょう！ 明石さんの生き方には、つくづく感心させられ、学ぶことが多々あった。世の母親たちも、こうした人がいることをもっと知れば世の中も少しは変わるのではないかと、思うとともに、自分自身の生き方をも深く反省させられた。他の同窓の方々も、思いがけない方面で思いがけない活躍をしているのを知り、とても誇りに思う。

◆以来5カ月、季節の移ろいの早さを感じつつ、とても楽しく、かつ勉強になった中で今号をお届けすることになりました。(高18回・久能真理)